

図書委員インタビュー

左から、
三浦宏愛さん(中3)、
澤地真衣さん(中3)



使用用途別に
学ぶための環境が
整う図書館

図書委員会恒例の活動は「POP作り」です。それぞれ好きな本が違うので紹介する本が被ることはありません。中学図書館は職員室とつながっていて、先生に質問をしやすいい環境なので自習に使うことも多いです。分類ごとに整理された書架は本が探しやすい、読んでみたい本がたくさん見つかります。(澤地さん)



高校図書館はより静かな環境で自習に取り組める

があればすぐに調べられます。私は自習をするときは高校図書館を使うことが多いです。特にお気に入りなのは外の景色が楽しめる。リラクゼーションしながら勉強に取り組みます。(三浦さん)

て、自分の中に眠る好奇心を見つけてほしいですね(河村なつみ先生)

図書館をどんな生徒にとって開けた場所にする為に、特に気を配っているのが選書だと思います。中学生が興味を持ってくれるように、ドラマや映画の原作本、世界史を取り扱った漫画など学びにつながる作品も揃えています。それらの本は入り口近くに展示し、授業で図書館を訪れた生徒たちの目に入りやすいように

図書館取材余話

中学図書館の窓から見えるのは、入間川と広い空。ふとしたときに目に入る豊かな自然は生徒さん曰く、癒し効果が抜群だそうです。

各テーブルには生物の写真集や絵本、地図帳など、眺めるだけでも楽しい本が多数置かれています。どんな生徒にも、自由に世界を広げてほしいという先生たちの思いが感じられました。



廊下の多目的スペースにも本が置かれている

ポートをしています。「卒論でどんなテーマを選んでも、基本事項を知るために本を読まなくてはいけません。自分の知識として知らない部分を本で調べて、それから実験や観察を重ねていくのです」(渡辺先生)

一方で、中学図書館では生徒が楽しくおしゃべりする姿もよく見られます。

「生徒にとって、癒しの場になってほしいと思います。気の合う子同士が集まって、気になる本を手にしながらコミュニケーションをとる……そんな空間を目指しています」(司書・深津由香先生)

放課後には、図書館に集まった生徒たちが互いに勉強を教えあうことも。学年を問わず交流できる場としても、図書館は機能しています。

「他学年との交流はもちろん、学びの面でも新しい知識に出合える場もあります。本を手にとって



委員会活動では展示物などの制作を行う。手作りPOPは本選別に役立つ生徒からも人気



しているそうです。また、図書館以外にも校内のあちらこちらに自由に閲覧出来るスペースがあります。

「本に親しんでいない生徒も、手に取りやすい場所に本を置いておけば読書へのハードルが下がります。こういった本をきっかけに、文学作品に興味を持つ生徒も少なくありません」(深津先生)

学びを深められるのももちろん、安らげる空間の一つとしても親しまれている西武学園文理の図書館。興味関心を深め、多様な学びに挑んでいく生徒たちの学校生活を支えています。

私学の 図書館 コレクション

第14回
西武学園文理
(埼玉県狭山市/共学校)

卒業論文に取り組む 中学生をささえる 癒しの図書館

豊かな自然の中、広大なキャンパスが広がる西武学園文理。施設も充実しており、図書館は中高それぞれに設けられています。蔵書は合わせて約8万5千冊。中学生は高校の図書館も利用可能で、定期テストの前には高校図書館で自習に取り組み中学生も多いといえます。また、高校図書館から本を借りる生徒もたくさんおり、2つの図書館が連携して学びをサポートしています。

中学図書館はさまざまな授業

蔵書数:約8万5000冊
(中学 3万冊、高校 5万5000冊)
新聞 4紙、雑誌 19誌
開館時間:9:00~17:15
休館日:土・日・祝(学校休業日に準ずる)
※高校図書館は土曜日にも開館
開覧席数:46席
貸し出し冊数:図書5冊、雑誌5冊、DVD1点、CD1点
※長期休業中は図書10冊、雑誌10冊、DVD2点、CD2点
貸し出し日数:14日間
※中学生は高校図書館での貸し出しも可能
※長期休業中は始業式まで貸し出し可能

DATA



左から
図書委員会顧問の河村なつみ先生、
司書の深津由香先生、
司書教諭の渡辺潤子先生

で活用されていると、司書教諭の渡辺潤子先生は話します。

「国語で俳句を学ぶときには、教科書に載っている俳人の生い立ちを図書館で調べ、どんな背景で詠まれた句なのかを考察し、それぞれ生徒たちが発表していきます」(渡辺先生)

国語と英語の横断授業では、翻訳に挑戦することも。日本語の文章を英語に訳することで、2つの言語の表現の違いを実践で学びます。

そして、図書館をフル活用し



高校図書館には卒業生の著作物コーナーが。小説から翻訳本、評論文までスラリと並ぶ

て取り組まれているのが、高校への進学条件の一つでもある卒業論文(以下、卒論)です。卒論のテーマは自由とし、生徒たちがそれぞれ興味のあることから選びます。生徒たちから寄せられる資料についての相談は複雑なものも多く、司書や教員が生徒に寄り添い資料選びのサ



中学図書館には野鳥観察のための双眼鏡が置かれている

